保育士配置基準の見直しと保育料の無償化について

田辺　純子　議員

質問 76年ぶりに保育士配置基準が見直されましたが、すでに保育士加算を受けている施設は新たな加算措置を受けられません。制度上の課題を伺います。

答弁 保育士不足が恒常化し、人員確保も容易でないことから、改善できた場合に加算措置という設定につながったと考えられます。

質問 保育士不足のため、基準が改定されても変化がないというのは何のための改正か、さらに改善の余地があるのではないですか。

答弁 基準の見直しは重要ですが、基準に合わせるために必要となる保育士の確保が新たな課題となる危惧もあります。必要に応じて、国へ要望するなど対応していきたいと考えています。

質問 公立保育園の保育士は、業務を時間内に終了し、休憩時間もきちんと取れているのか伺います。

答弁 公立園では、職員の処遇改善につなげる取組を進めており、仕事の持ち帰りや理由なく時間外に残っていないかを園ごとに確認しています。

要望 働きやすい労働環境を整えて、処遇改善を図ることが保育士の確保につながります。市として保育士の確保に向けた取組について伺います。

答弁 採用時期の見直しや、保育士が母校の後輩に働きかける等、課全体で保育士の確保に努めます。

要望 保育料の無償化は、みどり市が次年度から実施予定のほか、本市と同じ人口レベルの渋川市は令和元年から実施している。保護者の負担軽減のため、本市でも無償化を進めるべきと思うが、考えを伺います。

答弁 子育て世帯の負担軽減に有効ですが、多額の財源が必要なため、引き続き検討していきます。

質問 国に先駆けて、こども局を創設したが、どのような先進的な子育て支援に取り組んだのか伺います。

答弁 認定こども園化を中心に教育・保育環境を整備しました。今後、子ども家庭センターを設置し相談体制や支援体制等に取り組んでいきたいと考えています。

通学路の安全確保についてと新しい農業の可能性について

池森　のり子　議員

通学路の安全確保

質問 通学路の安全対策について現在、どのような取組を実施していますか。

答弁 館林市通学路交通安全プログラムに基づき通学路点検を実施しています。

質問 児童生徒に対する交通安全教育はどのように行われているのか伺います。

答弁 交通安全の講話や自転車の乗り方指導、安全ポスターの掲示や自作の安全マップの作製、保護者には交通安全運動の通知を周知しています。

要望 子どもたちが作製したポスターや安全マップは貴重な視点が集まった資料です。学校で意見を生かし、安全対策に役立ててください。また、保護者にも通学路の危険個所についてのアンケートを行い、安全対策に反映するシステムを構築していただけるよう要望します。

新しい農業の可能性

質問 収益性が低く若者が参入しづらい農業を、もうかる産業にするにはどうすればよいと思いますか。

答弁 単価の高い作物の選定や6次産業化、コスト削減、大規模化などが、もうかる農業につながるのではないかと考えています。

質問 過日、私は他地域の小学校跡地で行われている水耕栽培の施設を見学させていただきました。他地域の成功事例を参考に、公共施設や遊休地を活用した実験プロジェクトや企業誘致に、市として積極的に取り組む考えはあるのか伺います。

答弁 今後の検討課題として、研究していきたいと考えています。

意見 試験的な実験プロジェクトの実施は、地域農業の新たな可能性を広げる大きな一歩になると思います。前向きに検討ください。また、未来を担う若者に、環境にやさしいスマート農業や、農業×観光、更にはITを活用した農業など多様な選択肢を与えてあげることが私たち大人の責任ではないでしょうか。